

LED電球と蛍光管では分別が異なります

LED電球 → 燃やせないごみ（赤字の指定袋）
蛍光管・球形蛍光管 → 有害ごみ（資源物回収所やウィークエンドリサイクルへ）

素材で判別

プラスチック製の場合は
LED電球です。
（軽く叩いてみるとわかり
やすいです！）

LED電球を見分ける方法



LED電球は横から見ると2層に
なっているものが多いです。

※まれに例外がありますが、ほとんどの場合は上記の方法で見分けることができます。

型番で判別

型番が「LD」ではじまるも
の、又は「LED電球」等の
記載があるもの。



フィンが付いていればLED電球です。

中身が残っているカセットボンベ・スプレー缶は回収できません

中身が入ったものを処分する場合は、処分業者で有料での処分をしてください。
資源物回収所やウィークエンドリサイクルに出す場合は必ず中身を空にしてください。

中身を空にする方法

必ず火の気のない屋外で行ってください！

- ①風通しの良いところで空中に噴射する
- ②ガス抜きキャップを使用する
- ③キャップを取り、逆さにして地面に押し付ける
- ④新聞紙などに吹きかける・押し付ける



3



4

※メーカーによってはガス抜きの方法をホームページに
掲載しています。

ガス抜きキャップの使い方動画→

※作成：エアゾール製品処理対策協議会



資源物回収の際の注意点について

注ぎ口がプラスチックの
紙パックの出し方

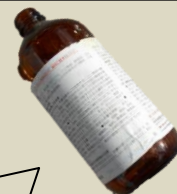


プラスチックの部分は
取り外してください！

びん回収の際にコンテナへのボタン
電池の混入に注意してください！



農薬・劇薬のびんは資源物回収
所等には出せません！



使用済み（中身が空）のチャッカマンは
資源物回収所やウィークエンドリサイクルへお出しください。



処分方法は販売店にご相談下さい。
※処分先が見つからない場合は、
処分業者等をご紹介しますので、
廃棄物対策課にお問い合わせください。

（お問い合わせ先） 廃棄物対策課（電話22-0666）

（裏面もご覧ください）



漏油事故に御注意を！



冬から春にかけての暖房器具の使用に伴い、ホームタンクからの漏油事故が多く発生しています。灯油が河川に流出すると、水道水源の汚染や魚類・水生生物、農作物等に被害を及ぼす恐れがあります。また、河川に流出がない場合でも、火災や土壌・地下水汚染の原因となる場合があります。漏油事故のほとんどが不注意によるものなので、ホームタンクを持つ家庭では以下のことに十分注意し、事故を防ぎましょう。



河川に流出した灯油

もし漏油事故を起こしてしまった場合は、すぐにお近くの消防署、もしくは市役所生活環境課、各地域自治センターに御連絡ください。

- 1** 使用前にバルブや配管、タンク本体に腐食や亀裂がないか確認しましょう
- 2** ホームタンクからの小分け作業中は絶対にその場を離れないようにしましょう
- 3** 給油後はバルブがきちんと閉まっているか必ず確認しましょう
- 4** 灯油の残量が異常に減っていないか定期的に確認しましょう



におい、音 感じ方は人それぞれです

楽器の演奏音、大音量の音楽、犬の鳴き声、深夜の住宅街でのしゃべり声といった「音」や、薪ストーブや野焼きの煙、維持管理されていない浄化槽などの「におい」が発生源として挙げられます。また、一般的に気にならないと思われる「音」や「におい」でも、人によっては「騒音」や「悪臭」として感じられることがあります。洗剤などによる化学物質過敏症の方もいらっしゃいます。自分にとっては、気にならない音やにおいでも、近隣住民の方々に迷惑をかけていることも考えられます。

皆さんも、御近所に一声かけるなど周囲への思いやりをもって生活しましょう。

(この面のお問い合わせ先)

市役所生活環境課

0268-23-5120

丸子地域自治センター市民サービス課 0268-42-1216

真田地域自治センター市民サービス課 0268-72-0154

武石地域自治センター市民サービス課 0268-85-2312